

News Release

2016 年 3 月 14 日

曙ブレーキ工業のセンサー製品、国土交通省 新技術情報提供システムNETISに登録

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長:信元久隆 本店:東京都中央区 本社:埼玉県羽生市)は、当社が開発した「IT 地表傾斜計測システム」が国土交通省の運用するデータベースシステム「NETIS^{*1}」に登録されたことをお知らせします。

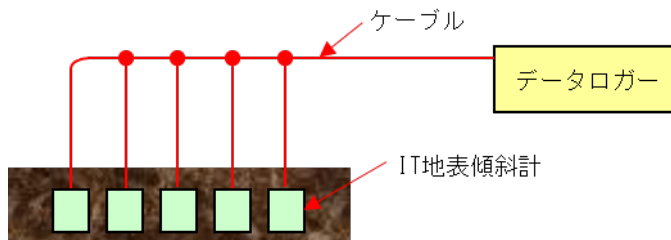
IT 地表傾斜計測システムは、重力加速度を測定することにより地表の変位や角度を計測するシステムです。

地表の変位や角度を計測するには地表に複数の IT 地表傾斜計を設置します。従来型では複数の IT 地表傾斜計から出る複数のケーブルを全てデータロガーに接続する必要がありました。新システムでは CAN 通信^{*2}を利用することで、複数のケーブルを 1 本にまとめてデータロガーに接続することで同じ機能を発揮できるようにしました。

新システムでは、

- ・データロガーに 1 本のケーブルを接続するだけなので作業が容易
 - ・1 本のケーブルで最大 50 個まで接続可能
- というメリットがあります。

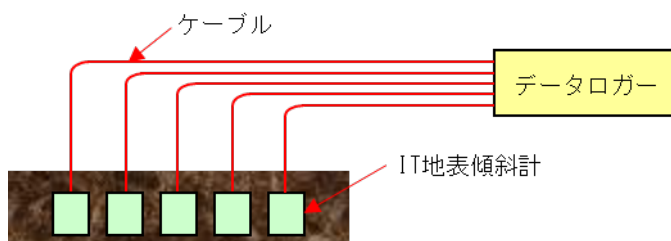
<新システムの接続方法>



<IT 地表傾斜計>



<従来接続方法>



新技術名称: IT 地表傾斜計測システム
NETIS 登録番号: QS-150031-A

*1: 国土交通省が、新技術活用のため、新技術に関わる情報の共有および提供を目的として整備した新技術情報提供システム(New Technology Information System: NETIS)

*2: データ通信ネットワークの名称(Controller Area Network: CAN)

曙ブレーキ工業では高い摩擦材技術とセンサー技術を生かしてインフラ&モビリティの発展に貢献する技術を今後も開発していきます。